

北ぐに

令和6年(2024年)11月19日(火)発行



令和6年度 全国学力・学習状況調査 実施報告

4月18日に3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果を受け、本校3年生の国語、数学、質問紙の調査結果をまとめました。全国平均と比較し、全体の傾向と本校の課題、差異が大きい、肯定的な回答が多いまたは少ないなど、本校の生徒の特徴的な結果に注目し、改善の方向について検討するとともに、今後の栄中学校の教育活動に生かしていきたいと考えております。

【生徒質問調査】生活習慣や学習環境等に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

1. 生活習慣に関わること

質問項目	本校の割合	全国平均
朝食を毎日またはほぼ食べている	90.5%	91.2%
毎日、同じくらいの時刻に寝ている、またはどちらかといえばしている	73.5%	80.7%
毎日、同じくらいの時刻に起きている、またはどちらかといえばしている	91.9%	92.5%

寝不足による体調不良を訴え、保健室を利用する生徒もおります。今後も、規則正しい生活習慣について、ご家庭でもご指導いただければ幸いです。

2. 生徒自身に関わること

質問項目	本校の割合	全国平均
自分にはよいところがあると思う、またはどちらかといえば当てはまる	85.8%	83.3%
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う、またはどちらかといえば当てはまる	88.2%	90.2%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う、またはどちらかといえば当てはまる	97.1%	95.7%
将来の夢や目標を持っている、またはどちらかといえば当てはまる	64.5%	66.3%
学校に行くのは楽しいと思う、またはどちらかといえば当てはまる	85.3%	83.8%

「認められている」「自分のことを見てくれている」と実感できる指導や声掛けなど、積極的なコミュニケーションを増やし、一人一人に合わせた適切な関わりができるよう、これまで以上に生徒理解に努めていきます。また、将来への目標をもち、学ぶことの必要性を感じて、生き生きと生活できる学校づくりに努めていきます。

3. 学習に関わること

質問項目	本校の割合	全国平均
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う、またはどちらかといえば当てはまる	69.2%	80.3%
学習した内容について、わかった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると思う、またはどちらかといえば当てはまる	72.5%	77.9%
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思う、またはどちらかといえば当てはまる	89.1%	86.1%
ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができると思う	82.0%	80.2%
ICT機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐ調べることができると思う	96.2%	93.9%

学習内容を確実に身に付けることができるよう、子ども一人一人の学習状況を丁寧に捉え、IT授業や学びのサポーターの協力を得るなど個に応じた支援を一層充実していく必要があると感じております。また、発表するだけでなく、調べる場面でのICT機器の活用が進んできています。今後も課題探究的な学習を効果的に取り入れながら、主体的に学習に取り組む態度を育みたいと思います。

【数学】教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要	課題	改善の方向
<p>【領域】</p> <p>□「数と式」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p> <p>□「図形」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p>□「関数」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p> <p>□「データの活用」 ・全国平均を上回っている。</p>	<p>●文字を用いた立式や、等式を目的に応じて変形すること。発展的に考え、成り立つことを見だし、数学的な表現を用いて説明すること。</p> <p>●条件を保ったまま動かした図形を観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすこと。</p> <p>●2つの数量の関係について、グラフから事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。</p> <p>●複数の集団のデータについて分布の傾向を比較して読み取り、判断した理由を数学的な表現を用いて説明すること。</p>	<p>○文字を用いることの意味を理解するとともに、数量の関係や法則性を表す立式や等式を変形する過程を、根拠に基づいて説明し合うなどの学習活動を充実させる。</p> <p>○図形の性質を考察する際に、紙やコンピュータなどで図形が動く様子を操作したり観察したりする活動を通して、成り立つと予想される事柄を見つけ、その事柄がなぜ成り立つのかという理由や、他にはどんな性質が考えられるかなどの考えを深めたり広げたりする活動を充実させる。</p> <p>○問題解決において用いたグラフの傾きや交点の意味を正しくとらえ、必要な情報を適切に読み取り、数学的な表現を用いて説明する活動を充実させる。</p> <p>○日常生活や社会の事象を題材とした問題を取り上げ、解決するためにどのようなデータが必要かを考えてデータを収集し、その分布の特徴を捉え、その結果を多面的、客観的に説明する活動を充実させる。</p>

【国語】

本校の概要	課題	改善の方向
<p>【領域】</p> <p>□「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p>□「情報の扱い方に関する事項」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p>□「我が国の言語文化に関する事項」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p>□「話すこと・聞くこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p>□「書くこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p> <p>□「読むこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p>	<p>●文の成分の順序や照応について、修飾語と被修飾語の関係を捉えること。</p> <p>●具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。</p> <p>●行書の特徴や読みやすい書き方について理解すること。</p> <p>●話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめること。</p> <p>●目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にして書くこと。</p> <p>●短歌の内容について、描写を基に捉えること。</p>	<p>○1年次での文法指導に重きを置き、学習後の問題演習に時間をかけて、解き直しをすることで「修飾・被修飾の関係」のさらなる定着を図ります。</p> <p>○説明的文章の授業や、スピーチ等の演習的な授業を通して、具体的に示すべき情報と、抽象的に示すべき情報の学習に意欲的に取り組める活動を充実させます。</p> <p>○毛筆での行書の事前指導において、ワークシート等での「行書の特徴」や「読みやすい書き方」の学習を充実させます。</p> <p>○授業における話し合い活動において、話題を明確に提示します。また、互いの発言を結び付け、話し合った内容を踏まえて自分の考えをまとめる活動を充実させます。</p> <p>○「書くこと」の指導において、ワークシート等で手順に沿って記述することで、目的、伝えたいこと、具体的な内容を明確にする活動を充実させます。</p> <p>○短歌の鑑賞に重きを置き、一つ一つの教材にあらわれた描写や背景を、視覚教材を用いることや、調べ学習等で丁寧に確認する学習を充実させます。</p>